

職員の思いは・・・

(・仕事上でよかった！と思える時 ・こんな介護をしたい)など

「先生・先生」(高井さんと間違えている。)
Tさんが住み慣れた家に戻って来たときの
最初の言葉でした。
多くの利用者さんから、いろいろ教えていた
だきました。
これからも笑い、楽しく通ってもらえます様
に・・・。

宿谷 良子 (介護歴 11年)

虹の家の介護生活において一番心に残る
出来事は、認知症と精神のある方がスタッ
フや入職したての私の名をしっかりと覚え、
家族の方も、「今まで他人の名を覚えること
は無く、すごいことだ。」と言われ、それだ
け介護の信頼関係が築けているのだろう。
小規模多機能の良い特性とと思いました。

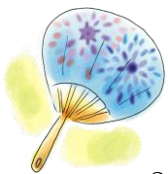
片田 清子 (介護歴 20年)

「ゆっくり一緒に笑顔で楽しく」この虹の
家のモットーが私は大好きです。この言葉を
常に念頭におき、利用者さんと共に笑顔で過
ごしていきたいと思えます。

染谷 京子 (介護歴 13年)

虹の家 10周年の節目に在籍できました事を
嬉しく思います。当初夜勤に入った時、夜中に
Nさんがベットの中で「アー寒い寒い」と呟く
のです。寒いはずはないし、もしやと思いオム
ツを確かめるとやはり濡れていました。利用者
様の言葉は必ずしも表現通りではなく、むしろ
反対の場合もあります。利用者様の気持ちを察
する事が出来るよう努力していきたいと思いま
す。

古谷田 恭子 (介護歴 10年)



やや古い話ですが・・・

8月19日は何の日かご存知ですか？

8・1・9の語呂合わせで、「俳句の日」なんだそうです。
そんなわけで、当日虹の家でも句会が開催されました。
利用者さんたちがワイワイ考えてできた作品をご紹介します。

「暑いわね 朝のあいさつ くちぐせに」(三人の合作)
朝のおしゃべりの時間みんなで頭を悩ました。
これも脳トレですよ。

「暑いわね あたりまえだよ 夏だもの」(そのえ)
そのえさんの人柄が出ていて笑ってしまいました。

「汗だくで 今日も昼食 虹の家」(たけ)
虹の家に昼食を食べに来ていたたけさんの作

このマークに注目を！

認知症の方の介護は、他の人から
見ると介護をしていることが分か
りにくいため、誤解や偏見を持た
れることがあります。
介護する方が、介護中であることを
周囲に理解していただくために、
我孫子市では「介護マーク」の普
及を推進しています。

配布場所
市役所高齢者支援課、障害福祉支援課、各地区の高齢者なんでも相談室
※我孫子市ホームページから「介護マーク」をダウンロード、印刷してご利用いただくこともできます。

障害のある方を介護する方も「介護マーク」をご活用ください。

認知症の方の介護は、他の人から
見ると介護をしていることが分か
りにくいため、誤解や偏見を持た
れることがあります。
介護する方が、介護中であることを
周囲に理解していただくために、
我孫子市では「介護マーク」の普
及を推進しています。

配布場所

市役所高齢者支援課、障害福祉支援課、各地区の高齢者なんでも相談室

※我孫子市ホームページから「介護マーク」をダウンロード、印刷してご利用いただくこともできます。

障害のある方を介護する方も「介護マーク」をご活用ください。